

1 2 複合災害看護教育プログラム

開設部局	医学部保健学科
概要	災害医療が対処すべき課題が複雑化・多様化の一途をたどっている昨今、自然災害だけでなく、複数の災害が重なる複合災害に対応できる人材育成を目的として本プログラムを実施する。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ○地球規模で起こり得る災害の種類やそれに対する災害医療のシステムを理解できる。(見通す力) ○災害医療システムで重要となる連携や情報共有、リーダーシップ、看護職の役割について理解できる。(見通す力) ○災害による健康影響について理解できる。(見通す力) ○災害サイクルにおける看護の実際的な役割について学びを深める。(見通す力) ○東日本大震災での福島原発事故に代表される原子力災害など複合災害の実際について理解する。(見通す力) ○自然災害を中心に、災害の種類やそれらへの対応、システムについて包括的に理解し、対応できる防災士を取得できる。(見通す力、学び続ける力、解決していく力) ○複合災害を含む災害における医療・看護・リスクコミュニケーションに関わる研修、フィールドワークを経験し、災害の各フェーズにおける介入について実践的に学ぶ。(見通す力、学び続ける力、解決していく力) ○災害看護に関わる多様な知識や経験をもとに、SDGsの視点で災害看護や課題について理解し、自ら考え、他国と比較し、強みや課題について発表する。(見通す力、学び続ける力、解決していく力)
履修人数上限	30人程度
履修時期	1年次前期～4年次後期
修了要件	<ul style="list-style-type: none"> ○本プログラムの必修科目9単位を修得していること ○防災士資格を取得していること
プログラムの紹介	近年災害が激甚化し、自然災害と新興感染症のまん延であったり、さらに対応が困難な状況を想定しておく必要があり、看護師も災害について学び、対応できるように学ぶことが必要です。このプログラムでは、1年次から災害医療、そして災害看護の知識を段階を踏んで学ぶだけでなく、シミュレーションや海外研修など幅広い研修を自ら選択して受講し、実践的な経験を積んでいくことができることも特徴です。また災害を地球規模で考え、海外の姉妹校の学生たちと英語でディスカッションして、知識や経験を共有していく国際交流を含んでいるのも特徴といえます。地球規模での広い視野と国際力を身につけ、将来起こり得る難解な災害にも立ち向かい、自ら考え、行動できるたくましい人材育成を目指しています。
プログラムに関する問合せ先	医学部保健学科学務グループ TEL 0172-39-5911 Mail jm5911@hirosaki-u.ac.jp 世話教員 富澤 登志子 Mail tmtott@hirosaki-u.ac.jp

複合災害看護教育プログラム 授業科目一覧

教養・ 専門 (学部)	科目群	授業科目名	学期	開始年次 学期	単位数	必修	選択
専門 (医保)		災害看護の基礎	前期	1年 前期	1	1	
教養	自然・科学	環境と生活－放射線の理解－	前期	1年 前期	2	2	
教養	自然・科学	環境と生活－弘前大学災害対応マネージャー その1 防災科学－	前期	1年 前期	2	2	
教養	人間・生命	医学・医療の世界－弘前大学災害対応マネージャー その2 災害医学－	後期	1年 後期	2	2	
専門 (医保)		災害看護実践演習	後期	2年 集中講義 (通年)	1	1	
専門 (医保)		国際災害看護学	後期	3年 後期	1	1	
合計						9	